横浜市 広島ホテル火災受け査察 消防法令9割違反

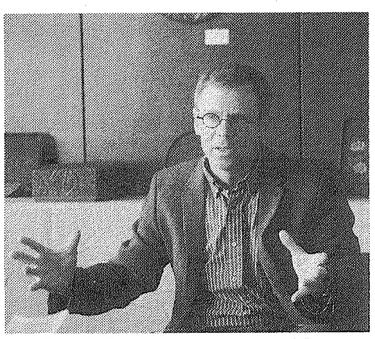
広島県福山市で5月13日に発生したホテル火災を受けて横浜市が実施した特別査察で、対象の126施設のうちの約9割の112施設で、消防訓練の未実施など何らかの消防法令上の違反があったことが今月6日までに分かった。市消防局査察課は「できることから改善するよう指導していく」と話している。（石尾　正大）

同課などによると、特別査察は5月15日から同31日にかけて市内15区の126施設で実施。73施設で消防訓練をしていなかったほか、48施設でカーテンが炎上を防ぐ処理がされていないなどの不備があり、29施設では火災報知の機器に関する不具合も見つかった。

また、38施設の建築基準法上違反が判明。29施設で非常用照明が点灯せず、17施設で防火戸が閉まらない状態だった。階段や廊下に避難の妨げになるように物が置かれていたのも16施設あり、中には通路に段ボール箱が積み上げられ、避難しようとしても大人1人が通るのがやっと、という施設もあったという。

困難克服方法学ぶ

きょう 関東学院大で講演



8日に講演するウンガー博士

リジリエンスと呼ばれる困難克服のための新しい概念とその手法を日本で研究、普及させるため、関東学院大学は8日、金沢文庫キャンパス（横浜市金沢区）でカナダ・ダルハウジー大学ソーシャルワーク大学院教授のマイケル・ウンガー博士の講演会を開く。

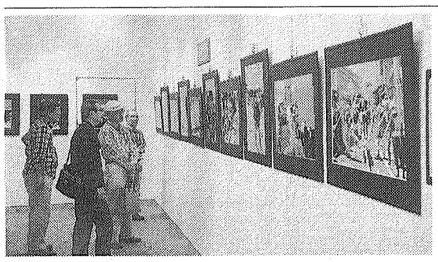
リジリエンスとは、困難な状況にうまく対応できる力。直面した問題を乗り越えられた人と、克服できなかった人のそれぞれの理由、要素を分析することで、問題解決の糸口を見いだそうというアプローチだ。

個人の力もさることながら、家族、地域社会、行政、関連機関などの果たすべき役割を探り、コーディネートしていくことを重視している。虐待やいじめという社会問題をはじめ、東日本大震災と東京電力福島第1原発事故からの復興、再生を目指す日本にとって意味のある学問分野とされている。

同大学文学部は今後、世界30カ所以上に連携拠点を持つというリジリエンス研究所と連携、日本における研究拠点化を目指す。

この分野で第一人者のウンガー博士は「例えば、津波被害のトラウマ（心的外傷）から、個人、そして地域のコミュニティーをどう再構築させるか。再生のメカニズムを考える上で、リジリエンスのアプローチはまさに出番になるだろう」と話している。

講演会は午後1時から。受講無料。日本での事例報告もある。



事件簿

●殺人未遂容疑で男逮捕

港南署は7日、殺人未遂の疑いで、横浜市港南区港南5丁目、無職田村優次容疑者（44）＝公用文書毀棄（きき）罪で起訴＝を再逮捕した。再逮捕容疑は、4月7日から8日にかけて自宅で、南区の無職男性（42）の顔をハンマーで殴るなどして顔の骨を折るなど約2カ月の重傷を負わせた上、瀬谷区の男性会社員（38）の頭に火を付けて約1週間のけがを負わせた、として同署によると、同容疑者は「説教していただけで殴ったりはしていない」と容疑を否認している。知人である2人に、引っ越しの手伝いをさせていた際に腹を立てたという。

●強盗傷害の疑いで高校生2人逮捕

磯子署は7日まで、強盗傷害の疑いで、県立高校1年の男子生徒（16）＝横浜市中区＝、同2年の男子生徒（16）＝同市磯子区＝を逮捕した。

2人の逮捕容疑は、5月29日午後9時15分ごろ、磯子区の路上で、同じ高校に通う男子生徒（19）の顔を頭突きして歯を折るなどのけがを負わせた上、ネックレス（約12万円相当）を奪った、としている。

●ひき逃げの疑いで会社員逮捕

金沢署は6日、道交法違反（ひき逃げ）と自動車運転過失傷害の疑いで、藤沢市鵠沼海岸6丁目、会社員尾竹実容疑者（44）を逮捕した。

逮捕容疑は、同日午前7時35分ごろ、横浜市金沢区片吹の国道16号下りで、転倒した同区の男性会社員（33）のオートバイと衝突、会社員に頭蓋骨や肋骨（ろっこつ）を折る重傷を負わせたが、そのまま逃げた、としている。

同容疑者は約1時間後に同署に出頭。同署の調べに対し、「前日の夜中まで酒を飲んでいて、酒気帯び運転がばれると思って、逃げてしまった」などと供述しているという。

会社員は転倒後、オートバイごと対向車線にはみ出し、同容疑者の車と衝突した。

●オートの男性に追突、逃げた疑い

旭署は6日、道交法違反（ひき逃げ）と自動車運転過失傷害の疑いで、川崎市川崎区殿町3丁目、トラック運転手堀内進容疑者（22）を逮捕した。

逮捕容疑は、5月16日午前4時10分ごろ、横浜市旭区白根4丁目の市道交差点で乗用車を運転、同区のアルバイト男性（20）のオートバイに追突、首などに約2週間のけがを負わせたが、そのまま逃走した、としている。

●磯子駅で女性はねられ死亡

7日午前9時55分ごろ、横浜市磯子区森1丁目、JR根岸線磯子駅で、同市旭区の女性（38）が大宮発大船行き普通電車にはねられ、間もなく死亡した。

JR東日本横浜支社によると、10本が運休、14本が最大で約50分遅れ、約1万3千人に影響した。

●鶴見線で信号トラブル

7日午前11時半ごろ、横浜市鶴見区末広町2丁目のJR鶴見線浅野駅構内で、信号が停止信号のまま切り替わらなくなるトラブルが発生した。復旧作業のため、同線は鶴見―扇町駅間の上下線で約2時間、運転を見合わせた。

JR東日本横浜支社によると、原因は信号ケーブルの不具合とみられるという。上下線12本が運休、2本に最大1時間44分の遅れが出て、約1700人に影響した。

写友リンク会員の〝個展〟

神報連（神奈川報道写真連盟）の会員有志でつくる「写友リンク」の写真展が、横浜市神奈川区のJR東神奈川駅前のかなっくホールギャラリー（神奈川区民文化センター3階）で開かれている＝写真。11日まで。

会場には、長野・木曽平沢の御柱祭りで地元の人たちの表情を捉えたスナップや横浜港の今昔を定点観測で比較した作品など会員6人の71点が並ぶ。

会員の多田正司さん（68）は「会員それぞれが多く出品していて、個展のような雰囲気が楽しめます」と話していた。

入場無料。午前10時～午後6時（最終日は午後4時まで）。問い合わせは、多田さん☎045（844）6080。（木田　亜紀彦）

動向

7日

林横浜市長【午前】▽ぬくもりトーク（港北区民活動支援センター）【午後】▽鈴木伸哉副市長▽松沢成文氏▽総務局寺岡副局長▽テレビ神奈川岩田悦子報道局長▽文化観光局赤岡観光コンベンション振興部長▽鯉渕ことも青少年局長▽環境創造局今関公園緑地部長▽大場副市長▽市会本会議に向けて勉強会。

かば焼き屋の仲間とともにフィリピンのうなぎを試す関口さん（左）＝中区野毛町

れは色黒で、太る。

数年前までは連日忙しく、カミさんがいたらと何度も思ったが、今はお客さんが減り、カミさんがいなくてよかったと思っている。その分経費が掛からないので、他の店より頑張れているのだと考えている。

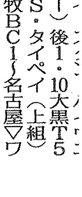
〈毎週金曜日掲載〉

文・関口　誠一（せきぐち・せいいち）65歳。うなぎ・ふぐの老舗「一千代」店主。〝看板娘〟のお母さんは92歳になる今でも店に顔を出している。

めだった。裂いたら肉はピンク色で美しく、蒸して焼いたらうなぎのにおいがムンムン。

期待で胸がいっぱいになった。だが結果、味はパサパサで皮が硬い。期待が大きかったので、3人で意気消沈した。

両大会で神奈川チームが準優勝したのは初めてで、史上最高成績。堅守速攻を武器に勝ち上がった坂田淳二監督（38）は「今度はもっと大きいトロフィーを持っては将来、非常に大きな財産になる。やればできるんだというのを、今後の人生で生かしていってください」とねぎらった。（東　真一）



全国大会2大会で準優勝した県選抜チームの選手たちと黒岩知事（中央右）＝県庁